



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社 田中化学研究所

上場取引所 東

コード番号 4080 URL <http://www.tanaka-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 横川 和史

問合せ先責任者 (役職名) 副社長執行役員 (氏名) 大畑 尚志

TEL 0776-85-1801

四半期報告書提出予定日 2019年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|------|------|------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期第2四半期 | 10,686 | 36.7 | 391 | | 410 | | 533 | |
| 2019年3月期第2四半期 | 16,888 | 87.9 | 219 | 41.3 | 234 | 30.6 | 185 | 40.1 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期第2四半期 | 16.39 | |
| 2019年3月期第2四半期 | 7.32 | |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年3月期第2四半期 | 25,561 | 14,129 | 55.3 |
| 2019年3月期 | 26,021 | 14,662 | 56.3 |

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 14,129百万円 2019年3月期 14,662百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | | 0.00 | | 0.00 | 0.00 |
| 2020年3月期 | | 0.00 | | | |
| 2020年3月期(予想) | | | | 0.00 | 0.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 32,000 | 1.9 | 220 | | 190 | | 170 | | 5.23 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|--------------|----------|--------------|
| 2020年3月期2Q | 32,533,000 株 | 2019年3月期 | 32,533,000 株 |
|------------|--------------|----------|--------------|

期末自己株式数

| | | | |
|------------|---------|----------|---------|
| 2020年3月期2Q | 1,086 株 | 2019年3月期 | 1,086 株 |
|------------|---------|----------|---------|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2020年3月期2Q | 32,531,914 株 | 2019年3月期2Q | 25,349,745 株 |
|------------|--------------|------------|--------------|

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定及び確信に基づくものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は見通しと異なる場合があります。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| 第2四半期累計期間 | 5 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 6 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における二次電池業界は、世界的な環境規制強化の流れから航空機や船舶にいたるまで電動化への対応など用途拡大も含め市場成長が続いております。一方で米中貿易戦争に端を発した世界景気減退の不安感が増している中、中国の新エネルギー車市場では政府の補助金減額や市場参入の規制緩和など様々な政策が講じられております。また、これらを背景として関連産業では国をまたいだ企業間の連携など新たなサプライチェーンの構築が本格化し、拡大する市場への対応が活発化しております。

このような市場環境の中、当社といたしましては当事業年度から翌事業年度にかけてリチウムイオン及びニッケル水素電池向け製品の増産体制の構築に向け着手しております。

足下の業績面においては主要顧客のリチウムイオン電池車載用途向け製品において仕様変更の対応に時間を要したことから一時的に販売数量が減少したことに加えて、同電池民生用途向け製品においても最終製品の需要減少の影響から販売数量が減少いたしました。また、販売価格においても顧客からの厳しい要求から対応を余儀なくされております。さらに、コスト面においては中期的な増産に向けた設備投資に加えて組織人員体制を強化していることから減価償却費及び労務費を中心に経費が増加し、採算面では厳しい状況が続いております。

また、当社製品の主原料であるニッケル及びコバルトの国際相場において、前年第2四半期より徐々に下落をはじめ前期末にかけてニッケルは約70%、コバルトについては約30%の水準にまで下落し、当第2四半期にかけても大きな変動なく推移したため、売上高においては前年同四半期と比べ大きな減少要因となっております。

以上の結果、売上高10,686百万円(前年同四半期比36.7%減)、営業損失391百万円(前年同四半期は営業利益219百万円)、経常損失410百万円(前年同四半期は経常利益234百万円)、四半期純損失は533百万円(前年同四半期は四半期純利益185百万円)となりました。

主要な製品用途別の販売数量の概況は以下のとおりであります。なお、当社は二次電池事業の単一セグメントであるため、セグメントごとに記載しておりません。

「リチウムイオン電池向け製品」

前年同四半期比で15.8%の減少となりました。用途別の増減は次のとおりであります。

- ・車載用途は、主要顧客向け製品において仕様変更の対応に時間を要したことから一時的に販売数量が減少し、前年同四半期比で5.8%の減少となりました。
- ・民生用途は、最終製品の需要減少の影響から販売数量が減少し、前年同四半期比で25.6%の減少となりました。

「ニッケル水素電池向け製品」

前年同四半期比で11.9%の増加となりました。用途別の増減は次のとおりであります。

- ・車載用途は、HV車の好調を背景に主要顧客からの受注が増加基調で推移しており、前年同四半期比で18.1%の増加となりました。
- ・民生用途は、市場の縮小から当社の生産体制においても他用途へと転用を図っており、前年同四半期比で27.1%の減少となりました。

(ご参考)

(ニッケル国際相場：円換算)

(単位：円/k g)

| | 4～6月平均 | 7～9月平均 | 10～12月平均 | 1～3月平均 |
|----------|--------|--------|----------|--------|
| 2020年3月期 | 1,360 | 1,691 | — | — |
| 2019年3月期 | 1,592 | 1,489 | 1,307 | 1,378 |

(コバルト国際相場：円換算)

(単位：円/k g)

| | 4～6月平均 | 7～9月平均 | 10～12月平均 | 1～3月平均 |
|----------|--------|--------|----------|--------|
| 2020年3月期 | 4,028 | 3,729 | — | — |
| 2019年3月期 | 10,429 | 8,741 | 8,089 | 4,483 |

※ ニッケル LME(ロンドン金属取引所)月次平均×TTS月次平均

コバルト LMB(ロンドン発行メタルブリテン誌)月次平均×TTS月次平均

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は前事業年度末比459百万円減少し、25,561百万円となりました。

その主な要因は、現金及び預金が2,424百万円、有形固定資産が3,782百万円増加した一方、グループ預け金が6,500百万円減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末比73百万円増加の11,432百万円となりました。

その主な要因は、短期借入金が1,900百万円増加した一方、仕入債務が261百万円、その他の流動負債が1,377百万円減少したことによるものであります。

純資産は、四半期純損失を計上したこと等により前事業年度末比532百万円減少の14,129百万円となり、自己資本比率は55.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)は、前事業年度末と比較して4,075百万円減少し、当第2四半期会計期間末における資金は、4,460百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、342百万円の支出(前年同四半期は1,665百万円の収入)となりました。これは主に税引前四半期純損失407百万円、減価償却費399百万円、運転資本の増加に伴う支出727百万円、未収消費税の減少に伴う収入509百万円があったためであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、5,392百万円の支出(前年同四半期は1,354百万円の支出)となりました。これは主に設備投資を中心とする有形固定資産の取得による支出5,393百万円があったためであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、1,667百万円の収入(前年同四半期は218百万円の支出)となりました。これは短期借入による収入1,900百万円に対し長期借入金の返済による支出150百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出82百万円があったためであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,035,756 | 4,460,268 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,748,772 | 2,824,093 |
| 電子記録債権 | 129,763 | 18,458 |
| 商品及び製品 | 1,051,275 | 1,463,916 |
| 仕掛品 | 1,846,643 | 2,047,676 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,078,584 | 966,825 |
| グループ預け金 | 6,500,000 | — |
| その他 | 674,424 | 151,815 |
| 流動資産合計 | 16,065,219 | 11,933,054 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 機械及び装置（純額） | 2,884,394 | 2,709,092 |
| 建設仮勘定 | 3,293,393 | 7,254,368 |
| その他（純額） | 3,539,676 | 3,536,928 |
| 有形固定資産合計 | 9,717,464 | 13,500,389 |
| 無形固定資産 | 6,721 | 7,259 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 232,580 | 121,705 |
| 貸倒引当金 | △451 | △451 |
| 投資その他の資産合計 | 232,129 | 121,254 |
| 固定資産合計 | 9,956,315 | 13,628,904 |
| 資産合計 | 26,021,535 | 25,561,958 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,607,065 | 3,449,989 |
| 電子記録債務 | 957,079 | 852,519 |
| 短期借入金 | — | 1,900,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 300,000 | 300,000 |
| 未払法人税等 | 46,125 | 44,217 |
| 賞与引当金 | 139,993 | 122,812 |
| 設備関係電子記録債務 | 1,842,022 | 1,815,489 |
| その他 | 2,333,123 | 956,082 |
| 流動負債合計 | 9,225,408 | 9,441,109 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,100,000 | 1,950,000 |
| 退職給付引当金 | 1,750 | — |
| その他 | 31,952 | 41,040 |
| 固定負債合計 | 2,133,702 | 1,991,040 |
| 負債合計 | 11,359,111 | 11,432,150 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 9,155,228 | 9,155,228 |
| 資本剰余金 | 6,662,707 | 6,662,707 |
| 利益剰余金 | △1,169,168 | △1,702,293 |
| 自己株式 | △2,077 | △2,077 |
| 株主資本合計 | 14,646,689 | 14,113,565 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 15,734 | 16,243 |
| 評価・換算差額等合計 | 15,734 | 16,243 |
| 純資産合計 | 14,662,424 | 14,129,808 |
| 負債純資産合計 | 26,021,535 | 25,561,958 |

（2）四半期損益計算書
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

| | 前第2四半期累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日） | 当第2四半期累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日） |
|-------------------------|---|---|
| 売上高 | 16,888,665 | 10,686,262 |
| 売上原価 | 15,783,409 | 10,204,530 |
| 売上総利益 | 1,105,255 | 481,732 |
| 販売費及び一般管理費 | 885,945 | 873,481 |
| 営業利益又は営業損失（△） | 219,310 | △391,748 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 996 | 1,556 |
| 受取配当金 | 1,092 | 1,052 |
| 為替差益 | 26,688 | — |
| その他 | 3,151 | 1,986 |
| 営業外収益合計 | 31,928 | 4,595 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 10,946 | 8,269 |
| 為替差損 | — | 10,675 |
| その他 | 6,048 | 4,165 |
| 営業外費用合計 | 16,994 | 23,110 |
| 経常利益又は経常損失（△） | 234,244 | △410,263 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 3,529 |
| 受取保険金 | 4,676 | — |
| 特別利益合計 | 4,676 | 3,529 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 81 | 399 |
| 固定資産圧縮損 | 3,766 | — |
| 特別損失合計 | 3,847 | 399 |
| 税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△） | 235,074 | △407,133 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 19,397 | 4,035 |
| 法人税等調整額 | 30,222 | 121,956 |
| 法人税等合計 | 49,620 | 125,991 |
| 四半期純利益又は四半期純損失（△） | 185,453 | △533,124 |

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

| | 前第2四半期累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日） | 当第2四半期累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日） |
|-----------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 （△） | 235,074 | △407,133 |
| 減価償却費 | 262,267 | 399,628 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | 10,869 | △17,181 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | △15,290 | △5,210 |
| 受取利息 | △2,089 | △2,609 |
| 支払利息 | 10,946 | 8,269 |
| 為替差損益（△は益） | △4,813 | 7,986 |
| 固定資産売却益 | — | △3,529 |
| 固定資産除却損 | 81 | 399 |
| 固定資産圧縮損 | 3,766 | — |
| 受取保険金 | △4,676 | — |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △1,032,572 | 35,983 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | △396,012 | △501,914 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 2,249,460 | △261,635 |
| 未収消費税等の増減額（△は増加） | 357,138 | 509,527 |
| 前渡金の増減額（△は増加） | — | △654 |
| その他 | 52,357 | △119,426 |
| 小計 | 1,726,507 | △357,499 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,089 | 2,609 |
| 利息の支払額 | △10,913 | △8,338 |
| 法人税等の支払額又は還付額（△は支払） | △56,703 | 20,819 |
| 保険金の受取額 | 4,676 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,665,655 | △342,409 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,353,551 | △5,393,706 |
| その他 | △648 | 1,364 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,354,200 | △5,392,342 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | — | 1,900,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △150,000 | △150,000 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △68,729 | △82,749 |
| その他 | △62 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △218,791 | 1,667,250 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 4,813 | △7,986 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 97,477 | △4,075,487 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,945,108 | 8,535,756 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,042,586 | 4,460,268 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。